



SOROPTIMIST®  
Investing in Dreams

町田市子どもセンターを訪問、施設見学しました。  
2020年10月5日(月)

国際ソロプチミスト町田  
会長 柴崎亜紀子

2020年10月5日(月)、町田市にある子どもセンター5ヶ所のうち、4ヶ所（相原、忠生、金森、中町）の子どもセンターを訪問し、施設見学を致しました。

国際ソロプチミスト町田は、子どもセンターの新規開設時に、それぞれのセンターに必要な教育支援をして参りました。プロジェクター、テレビ、ピアノと、今も大事に子どもたちが利用してくれていることを聞き大変嬉しく思いました。

施設により、訪れる子どもの年齢、遊び方、保護者の様子もそれぞれで、町田市の石坂市長が子どもセンターの誘致は、「未来への投資」と言われるように、小さな幼児から高校生に至るまで、自らの社会性、自立性を養い、子ども同士が影響し合って大人へと成長する大切な場所であり、空間であると、強く感じました。

今や少子高齢化。子どもたちが幼い頃から地域で交流したり、おじいちゃん、おばあちゃんと生活したりする機会もなく、閉じられた生活環境や社会で大人へと成長してしまいがちです。そのような中では、当然、友達、仲間や地域社会への感謝の気持ちを感じて見いだすことは難しい時代です。

子どもセンターは、子ども自身が生きていく力を学ぶ場所であると、改めて認識させて頂きました。

また、いずれの施設の館長は、皆様お若いにも関わらず、ものすごく熱心で、館内に来ていた子どもに負けないくらい、エネルギーのある女性ばかりでした。

写真を添付します。



町田子どもセンターばお  
榎本洋子館長（↑真ん中）



館内を詳しくご案内頂きました。  
教育に関してたいへん熱心な館長さんでした



町田子どもセンターただON  
吉田館長様（↑真ん中）



子どもたちの笑い声に負けないぐらいの  
笑顔の素敵な館長さんでした。



町田市子どもセンター金森ばあん  
石井館長（←右から二人目）

最も古い子どもセンターとして健在  
国際ソロプチミスト町田が寄贈したピアノも大事  
に活用されていました。

町田子どもセンターまあち  
栗原館長（左から二人目→）

夕方6時前後の訪問だったこともあり、ほかの子  
どもセンターと違って、中学生、高校生が多く集  
まるセンターでした。  
とことん、子どもの自主性や社会性を重んじる  
栗原館長の理念に脱帽です。

